



よ ば てんびょう 四つ葉点描

きょういくもくひょう 教育目標 「美しく生きる」



四日市市立中部中学校

令和5年10月26日

第15号

どのように学ばいいのかを考えてみる

सुन्दर ढंगले बाँचुहोस्

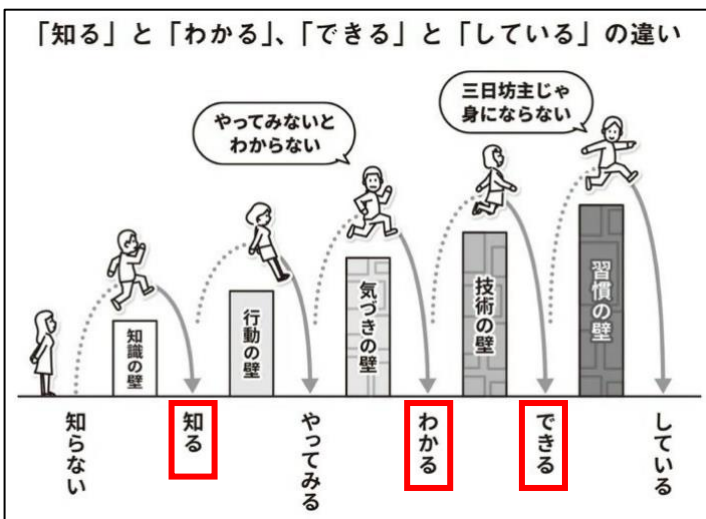


「↑にある矢印の上の文字を100回書いて、暗記しましょう。」

100回も書けば覚えられるし、すらすら書けるようになるかもしれません。でも、それだけです。将来、何かの機会に書くことになっても、思い出すことは難しいでしょう。

- * 意味も分からず暗記をしても役に立たないし、必要な時に正しく思い出せるかどうか怪しい。
- * 知識は言葉の数で制限される。また、普段、人は言葉を使って考える。
- * 「読み、書き」が大事といわれるのは、(言葉や文章) 読んだり書いたりして考えるから。
- * たくさんの知識(言葉)を持っている人は、たくさんのことを考えることができる。
- * 残念ながら、知識(言葉)はたくさんあっても、考えることに使わない人がいる。

「学ぶ」=「教えてもらう」ではない。「教えてもらったこと」を使ってみて、「できる」ようになること。



「知る」と「わかる」は違う
「わかる」と「できる」も違う
「知る」は、学びの入り口

週に1時間、ピアノを習ってもピアノは上手にならない。習ったことを他の6日間に繰り返し練習するから技術が身につく(できるようになる)のだ!

まずは「知る」ことがスタートです。知識(言葉)が少なければ何も思いつかないし考えられません。しかし、「知る」がゴールでは困ります。「できる」(例えば、テストの問題が解ける)まで到達しないからです。

自分で「やってみて」「（なんとなく）わかる」ようになり、繰り返し行うことで「できる」ようになるのです。

これは、勉強だけの話ではありません。今、取り組んでいる合唱にも言えることです。仲間のアドバイスを聞く（知る）。そして、その後は？

「わかる」まで、とりあえずやってみていますか？ 「できる」ようになるまで続けていますか？

ちなみに、「सुन्दर ढंगले बाँचुहोस्」はネパール語です。英語で書くと「live beautifully.」です。英語ならば、100回書かなくても簡単に覚えられますよね。それは、すでにみなさんの中に英語に関する知識が入っている証拠ですよ。

ほごしゃ みなさま
保護者の皆様へ



行事の秋といいますが、体育祭、中間テスト、新人大会、そして文化祭へと、生徒も教職員もめまぐるしく活動しています。充実した毎日を実りにかえるため、日々奮闘中です。

1. 土曜授業のお知らせ

10月28日（土）は、土曜授業です。普段は、お仕事等もあり、お子さんの学校での様子を見ることは難しかったかと思います。ぜひ、この機会に学校に来ていただき、生徒と教職員の応援をよろしくお願いたします。

- (1) この日は給食がありません。弁当のご準備をお願いします。
- (2) 昇降口に受付を設けます。そこに“ふせん”を準備しますので、ご感想をいただければ幸いです。
- (3) 振替として、11月6日（月）は、お休みです。

2. 冬時間にもなっただけのお願い

新人大会終了後、下校時間が冬時間（部活終了16:30）になりました。これに合わせて、学校の電話の対応時間を18時までに変更します（期間は、11月～1月末まで）。18時以降は、オートメッセージとなりますので、お気を付けください。

また、下校時の交通安全も心配するところです。冬場の夕方は、事故発生率が高くなります。ご家庭でも、引き続き、安全に対するお声掛けをお願いします。

3. 広域にわたる夜間徘徊・問題行動に注意！

SNS でつながり、近鉄四日市駅周辺に集まり、そのまま車で市外、県外まで遊びに行く・・・という状況が三河内の中学生にあるようです。そのまま、家出や犯罪行為に至る生徒もいます。ご家庭でも注意していただき、特に、夜間の外出時は、気を付けるようお願いいたします。